

脱「引きこもり」へ全力

中高生の不登校を含む若者の引きこもりは、三年前の調査において全国推計で百六十万人に上るとされました。これは三十五歳までの「若者」の総人口に対し、およそ3%から4%に当たります。つまり、日本の若者の三十人に一人が、不登校や

提言

引きこもりの状態にあるということになります。

思春期のいじめや不登校からそのまま引きこもりに陥るケースのほか、就職氷河期にたまたまいて社会から遠ざかってしまつたなど理由はさまざまですが、少子高齢化が進み、ただでさえ勞

NPO法人東北青少年自立援助センター理事長

岩川 耕治



共同生活で若者を支援

働力が不足するこれからの日本を考えると、決してひとことではありません。かなり逼迫(ひっぱく)した社会問題と言えないではないでしょうか。

そして何よりも、当事者やその家族にとっては、いつ抜け出せるのか分からない長くて暗いトンネルに入りこんでしまった

同作業を通じて自主性や協働、彼らに共通しているのは、性

格からくる問題もあつて円滑な人間関係を築くことが苦しいの里」では、同じ悩みを持つ者同士がスタッフとの共同生活を重ね、徐々に自分を見つめ直す。つらく苦しいこともありま

ような状態でしょう。また、そのも事実です。引きこもる期間が長くなればなるほど抜け出すための労力は増大し、ますます

活動です。一九八六年、都内で公立中学校の教師をしていた夫婦が開校

し、息子である私が後を引き継ぎ、任意団体からNPO法人

引きこもりの問題は、発達障

山開き初参加 関係者に感謝

酒田市 今野 正 73歳

先月十五日の日曜日、摩耶山の旧朝日村側倉沢口からの山開きに初参加した。

幸い好天に恵まれ、県内外

口や、越沢口からの登山経験はあるものの、倉沢口からの登山は初めてであり、急な登りが多く、ロープやチェーン

館前では、住民挙げての開山の祭のイベントで歓待された。登山道の草刈りや、観光資源のヒメサユリの群生地まで案内してくれた観光協会との関係

職員に対し、感謝とお礼を申し上げたい。

日本は、国際貿易ルールの多面的機能を計算すると年間八兆二千億円にもなると言

特に水田は、お米を生産するだけでなく、ダム役割や洪水防止など国土を守る機能やその景観がやすらぎを与え、自然環境を守るなどさまざまな機能があります。水田

山形市 熊谷誠司 42歳 任期を全うせず後藤副知事

農業大切に

農業者の収入を確保し、食料の自給率を高めることが重要だ。

食料の自給率を高めることが重要だ。

食料の自給率を高めることが重要だ。